

令和4年度 教育委員会点検・評価報告書
【令和3年度事業】

令和5年3月
西予市教育委員会

－目 次－

はじめに	1
I 令和3年度（令和2年度事業）学識経験者の意見への対応状況	2
II 西予市教育振興基本計画（令和2年6月策定）について	3
III 西予市教育委員会の点検・評価について	5
IV 点検・評価結果	
IV-1 教育委員会の活動状況	7
1 委員選任状況	7
2 会議開催状況	8
3 委員会議以外の活動状況	8
4 主な活動実績一覧	9
IV-2 施策別の点検・評価結果	11
1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧	11
2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果	12
重点目標1 「生きる力」を育む学校教育の推進	
(1) 確かな学力の育成	12
(3) 健やかな体の育成	16
(5) 特別支援教育の推進	18
(7) 安全・安心な学校づくりの推進	20
(9) よりよい教育環境づくりの実現	21
重点目標2 ライフステージに応じた社会教育の推進	
(1) 生涯学習の推進	24
(2) 公民館活動の推進	26
(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	32
(5) 図書館活動の推進	34
重点目標3 人生を豊かにする文化芸術の振興	
(1) 文化財の保護と活用	36
(2) 文化の振興	41
(3) 文化活動の環境と基盤の整備	44
重点目標4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	
(1) スポーツの普及・推進	46
V 学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性	48

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）（以下「法律」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、効果的な教育行政に資するとともに住民への説明責任を果たすため、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられました。

また、いじめ問題を契機とした教育委員会の責任所在の不明確さ、危機管理能力の低さなどの課題も指摘されたことから、国においては教育委員会の存続を含めた制度の見直しの議論がなされました。そして、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るための教育委員会制度改革が法律の一部改正により、平成 27 年 4 月から施行されました。

一方、平成18年に改正された教育基本法では、知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間、公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、わが国の伝統文化を基礎として国際社会を生きる日本人の育成を目指すことが明確にされました。令和 3 年から ICT を活用した「GIGA スクール構想」が始まり、これを踏まえた教育施策の展開も求められております。これを受けて、西予市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、学校教育及び社会教育の一層の充実を図るため、市総合計画と整合性を図りながら、今後目指すべき教育の基本的方向性や重点的に取り組むべき教育施策を明らかにした「西予市教育振興基本計画」を平成26年 3 月に策定しました。その後、平成27年度に第 2 次市総合計画が策定されたことに伴い、教育委員会では、本基本計画の一部改訂を平成28年 3 月及び令和 2 年 6 月に行っております。

今回、今後のさらなる効果的な教育行政の推進に資するために、学識経験者のご意見をいただきながら、令和 3 年度に実施した事業について、教育委員会が点検・評価した結果を報告書としてまとめましたので、ご覧いただき、ご意見・ご要望をお寄せいただくことで、よりよい教育の実現をめざして、取り組みを進めてまいります。

令和 5 年 3 月

西予市教育委員会

I 学識経験者の意見への対応状況

令和2年度事業の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価における学識経験者からいただいた意見等について、令和3年度の西予市教育委員会の対応状況は以下のとおりです。

評価・意見（令和2年度事業）	対応状況 （令和3年度の取組）
1 「生きる力」を育む学校教育の推進	
<p>(1) 確かな学力の育成</p> <p>③市内小中学校の児童生徒に1人1台端末を整備したことが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下において幸いしたと思う。今後とも柔軟な対応、有効な活用をお願いしたい。 各家庭のWi-Fi環境にも左右されると思うが、市内小中学校におけるオンライン授業など、端末を利用した実績や今後の計画はどうなっているのか（小・中学校情報教育事業）</p>	<p>評価結果<概ね順調></p> <p>③家庭にWi-Fi環境がある場合は利用し、ない場合は市からモバイルルータを貸し出しているため、校内、校外で端末を利用できる。校内では、授業で日常的に利用し、臨時休業、自宅待機、不登校、入院の際には、オンライン授業を実施した。今後の計画として、愛媛県ICT教育推進ガイドラインに定められたICT活用スキルの達成を目指す。</p> <p>【担当：学校教育課】</p>
<p>(5) 特別支援教育の推進</p> <p>②現在、生活支援員のいない学校運営は困難になっていると思う。児童生徒の共通認識を持つため、保護者と学級担任、生活支援員との情報交換は行っていると思うが、状況によっては、学童保育等との情報交換も必要になると思う。現状はどうか。 また、適切な支援の結果、生活支援員なしで学校生活を送れるようになった児童もいるようであり、予算を確保して継続してもらいたい。（小・中学校生活支援員設置事業）</p>	<p>評価結果<概ね順調></p> <p>②保護者と学級担任、生活支援員との情報交換については、生活支援員配置校において綿密に行い、児童生徒への適切な支援の充実に努めている。学童保育との情報交換等においては、必要に応じて学校と連携を図り、児童の情報を共有し、支援につなげている。また必要な情報は生活支援員にも伝え、児童への支援に生かしているところである。 生活支援員配置事業については事業を継続し、支援が必要な児童生徒へ生活支援員の配置を行っている。</p> <p>【担当：学校教育課】</p>
3 人生を豊かにする文化芸術の振興	
<p>(1) 文化財の保護と活用</p> <p>①作成している文化財保存活用地域計画が国から認定された後、国庫補助の優遇措置等の制度を有効活用し、文化財の保存伝承、活用に取り組んでもらいたい。（文化財保護推進事業）</p>	<p>評価結果<順調></p> <p>①現在、文化財保存活用地域計画の作成に取り組んでおり、令和5年度に認定される見込みである。認定後は、調査による文化財の価値の把握に努めるとともに、「地域文化財総合活用推進事業」等の国庫補助の活用を検討しつつ、文化財の保存整備やサインの更新、記録作成、情報発信や活用イベント等、計画的・継続的な取り組みを通</p>

	じた保存活用を図る。 【担当：スポーツ・文化課】
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	
(1) スポーツの普及・推進	評価結果<概ね順調>
①維持・管理等困難なことも多々あると思うが、市内に競技・生涯スポーツの拠点となる施設（プールを含む）があればいいと思う。 (体育施設維持管理事業)	①体育施設を多く保有する状況で、新規設置は厳しい状況である。各施設の利用状況・老朽化など集約が必要な時期が訪れた場合に、整備を進めたい。 【担当：スポーツ・文化課】

II 西予市教育振興基本計画（令和2年6月一部改訂）について

1 基本理念

『ふるさとの未来へつなぐ人づくり』

本市の特性を生かし、西予市を誇りに感じ、「ふるさとの未来」を思い、次代を担う「人づくり」を推進します。

2 基本目標

「夢を育み 未来へつなぐ 西予っこ」

「生きる力」の育成を基盤とした学校教育を推進するとともに、学校や家庭、地域が連携・協力し、市の特性を生かした特色ある学校づくりを進めます。また、ふるさとを愛する心を育て、夢多き未来につながる教育に努めます。

「ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと」

市民が生涯現役として、ふるさと西予の歴史・文化やスポーツに親しみ、積極的にまちづくりへ参画できるように、生涯学習の場を充実させて活躍できる場の提供に努めます。

3 重点目標

「生きる力」を育む学校教育の推進

学校・家庭・地域の連携・協力により、児童・生徒に、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けさせ、社会の一員としてたくましく生きていく力を育成します。

ライフステージに応じた社会教育の推進

少子化・高齢化・核家族化が一般化している現代において、家庭・地域・行政が役割を明確にし、市民一人ひとりが自発的に学習し、学んだ成果を社会に還元できる社会（地域）づくりの向上を目指します。

人生を豊かにする文化芸術の振興

市民共有の貴重な財産である歴史、文化、文化財などについて、調査・研究のうえ保護、活用し、市民が文化財に親しむ機会を創出します。また、市民の芸術文化活動を支援し、鑑賞の機会を提供します。

健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

子どもから高齢者まで、年齢、性別、健常者・障がい者の区別なく、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、楽しめるような生涯スポーツ社会の実現を目指します。

4 施策の体系

○基本目標：夢を育み 未来へつなぐ 西予っこ

重点目標	施策	事務事業等
1 「生きる力」を育む 学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	①学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実 ②学校・家庭・地域との連携 ③ICTの活用と情報教育の推進
	(2) 豊かな心の育成	①道徳の時間の充実 ②互いの関わりを大切にされた集団活動の充実 ③いじめ根絶に向けた取組の充実 ④情報モラル教育の充実 ⑤家庭や地域と連携した活動の充実
	(3) 健やかな体の育成	①体力の維持・向上 ②基本的な生活習慣の定着 ③学校給食の充実
	(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	①特色ある学校づくりの推進
	(5) 特別支援教育の推進	①個に応じた学習支援の充実 ②生活支援員の配置
	(6) 人権・同和教育の推進	①人権・同和教育の充実 ②いじめや不登校への対応
	(7) 安全・安心な学校づくりの推進	①防災教育の推進 ②学校や地域での安全確保の推進
	(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	①市所属部会、市教育研究大会の充実 ②授業力の向上 ③学校組織の活性化
	(9) よりよい教育環境づくりの実現	①小学校の再編推進 ②放課後の子育て支援 ③校舎の改築及びICT設備の整備等 ④小中連携教育の推進 ⑤コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進

○基本目標：ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと

重点目標	施策	事務事業等
2 ライフステージに応じた 社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	①生涯を通じた多様な学習機会の提供
	(2) 公民館活動の推進	①地域と連携した公民館活動の充実 ②社会教育関係団体への支援と連携 ③西予市結婚推進委員会の取組
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	①青少年健全育成体制の強化 ②家庭、地域の教育力の向上 ③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進
	(4) 人権・同和教育の推進	①学習機会の拡充と啓発活動の充実 ②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成 ③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実

	(5) 図書館活動の推進	①読書活動の普及啓発 ②図書館サービスの充実
3 人生を豊かにする文化 芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	①文化財・文化遺産の保護と活用 ②文化財の継承と次世代を担う人材の育成
	(2) 文化の振興	①文化の継承と次世代を担う人材の育成 ②文化芸術、生活文化の振興
	(3) 文化活動の環境と基盤の整備	①文化施設の整備・充実
	(4) 西予市の特色を生かした文化 施策の推進	①古代ロマンの里構想の推進 ②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存 計画の推進 ③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進 ④文化的景観保護推進事業の推進
4 健やかな心と体をつく る生涯スポーツの振興	(1) スポーツの普及・推進	①生涯スポーツの普及と活動支援 ②スポーツ施設の整備・充実
	(2) 施設の有効活用とトップアス リート等との交流推進	①競技スポーツの振興 ②関係施設の整備・充実

Ⅲ 西予市教育委員会の点検・評価について

1 点検・評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

<p>○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等） 第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。</p>
--

2 点検・評価の対象、実施期間

(1) 点検・評価の対象

- ・令和 3 年度における教育委員会の活動状況
- ・令和 3 年度における教育委員会の取組施策

(2) 点検・評価の実施期間

令和 4 年 7 月～令和 5 年 2 月

3 点検・評価の方法

(1) 自己点検・評価

教育委員会主管課が西予市教育振興基本計画に基づく取組を自己点検・評価します。

(2) 学識経験者の意見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会が行った点検・評価結果について、選任する学識経験者 3 名から評価会議で意見を伺います。

氏名	団体・役職名
中橋 治彦	元公立学校長
岡上 昌造	元市役所職員
大塚 晶司	元社会教育委員長

4 自己点検・評価の構成

(1) 施策の評価 (A表)

「施策の体系」の表に示した20の施策毎に施策を構成する事務事業等の実績及び成果等を分析し、取組の成果（進行状況）を次の表1の区分により総合的に評価します。

(表1)

順調	調：施策の成果が十分にあり、進行状況が順調であると判断されるもの
概ね順調	調：施策の成果がある程度あり、進行状況が概ね順調であると判断されるもの
やや遅れている	調：施策の成果があまりなく、進行状況がやや遅れていると判断されるもの
遅れている	調：施策に成果がなく、進行状況が遅れていると判断されるもの

※担当課が2課以上ある場合の評価

評価及び評価に対する分析について協議し、評価を一本化しています。

(2) 主な取組事業の点検・評価 (B表)

施策を構成している主な取組事業の内容、実績、評価と今後の課題・対応方向等について分析しています。

(記入項目)

事務事業等	課題解決に設定した具体的な方策。※別紙施策の体系を参照
成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組の推進が効果的となるよう設定した指標
取組事業	取組を推進するための事業名
事業内容	取り組む事業の内容
実績	実施した事業の実績等
評価と今後の課題・対応方向	実施した事業の評価と今後の事業を進める上での課題と、その改善点や対応の方向
決算額 (千円)	令和3年度の決算額 (事業の総額) ※千円単位に四捨五入

(3) 成果指標の評価・分析 (C表)

成果指標の評価は、20の施策の中で設定した10の成果指標の達成状況を下記表2の区分により評価し分析しています。

(表2)

A：達成済
B：概ね達成
C：未達成
D：不明

(記入項目)

成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組が効果的となるよう設定した指標名
達成状況	表2の中から、成果指標の達成状況の評価項目を選択
分析・評価	令和3年度の成果指標値について、基準値との比較や社会情勢等を考慮した分析・評価
基準値	西予市教育振興基本計画において、基準とした平成30年度の値
目標値	西予市教育振興基本計画において、目標とする令和5年度の値
実績値	西予市教育振興基本計画における令和3年度時点の値
増減	設定した指標の実績値と基準値の差

IV 点検・評価結果

IV-1 教育委員会の活動状況

1 教育長及び委員任命状況

(令和3年6月10日現在)

職	氏名	性別	職業	任期	通算在任年数	役職任期	常勤・非常勤の別
教育長	松川 伸二	男	公務員	R元.6.10 R4.6.9	3		常勤
職務代理者	古谷 和彦	男	無職	H30.6.10 R4.6.9	4	R3.6.10 ～ R4.6.9	非常勤
委員	酒井 郁子	女	無職	R元.6.10 R5.6.9	3		非常勤
委員	梅川 俊一	男	会社役員	R2.6.10 R6.6.9	2		非常勤
委員	木下 弘規	男	農業	R3.6.10 R7.6.9	1		非常勤

※教育長の任期は3年間

※教育委員の任期は4年間

※教育長職務代理者の任期は1年

2 会議開催状況

①会議開催数・付議案件数

定例会	12 回
臨時会	1 回
案 件	13 件

②会議に付された案件（定例会・臨時会）

月日	案件名
5 月 25 日 定例会	西予市西予市図書館交流館条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	西予市公立学校管理規則の一部を改正する規則制定について
6 月 29 日 定例会	西予市社会教育委員の委嘱について
	西予市図書館協議会委員の任命について
2 月 22 日 定例会	押印を求める手続の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則制定について
3 月 29 日 定例会	独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金に関する規則の一部を改正する規則制定について
	西予市社会教育委員の委嘱について
	西予市公民館長の任命について
	西予市公民館分館長の任命について
	西予市公民館分館主事の任命について
	西予市図書館協議会委員の任命について
	西予市文化財保護審議会委員の委嘱について
教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について	

③教育委員会議の公開

西予市教育委員会傍聴規則の規定に基づき、会議は教育長の許可を得て傍聴できません。

・令和3年度 傍聴人 0人

3 委員会議以外の活動状況

教育長及び教育委員は、教育委員会議への出席以外に、市議会、学校訪問の他、各種行事等へ出席しました。（詳細は、4 主な活動実績一覧を参照）

- ① 議会関係・・・・・・・・定例会（4回）、臨時会（1回）
- ② 学校訪問・・・・・・・・小学校（12校）、中学校（5校）
- ③ 各種行事・大会・・・・・・・・ 20回

4 主な活動実績一覧

月	教育委員会関係	市議会関係	各種行事・大会	学校訪問
4	定例会 (1)		・市新任式 ・市校長会、教頭会 ・市内中学校総合体育大会	
5	定例会 (1)	臨時会 (1)		
6	定例会 (1)	定例会 (1)	・三瓶分校活性化推進連絡協議会 ・地域づくり活動センター市民検討委員会	明浜小 多田小 石城小 中川小 宇和町小 皆田小 田之筋小 野村小 惣川小 大野ヶ原小 城川小 三瓶小 明浜中 宇和中 野村中 城川中 三瓶中
7	定例会 (1)		・宇和町地域小学校再編検討委員会	
8	定例会 (1)		・市政懇談会 ・小学生夢チャレンジサポート事業選定等審査会	
9	定例会 (1)	定例会 (1)	・市政懇談会	
10	定例会 (1)		・第26回かまぼこ板の絵展覧会表彰式 ・市小学校陸上記録会 ・市政懇談会	
11	定例会 (1)		・第1回市総合教育会議 ・市政懇談会	
12	定例会 (1)	定例会 (1)	・市政懇談会	
1	定例会 (1)		・市仕事始め式	

2	定例会 (1)		・地域づくり活動センター推進本部会議	
3	臨時会 (1) 定例会 (1)	定例会 (1)	・市内県立学校卒業式 ・小学生夢チャレンジサポート事業検証会 ・市退任式	
合計	臨時会 (1) 定例会 (12)	臨時会 (1) 定例会 (4)	20回	小学校 (12) 中学校 (5)

IV-2 施策別の点検・評価結果

1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧

重点目標	施策	評価	事務事業等	成果指標	達成状況	
1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	概ね順調	①学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実			
			②学校と家庭、地域との連携			
			③ICTの活用と情報教育の推進			
	(2) 豊かな心の育成	概ね順調	①道徳の時間の充実			
			②互いの関わりを大切にされた集団活動の充実			
			③いじめ根絶に向けた取組の充実			
			④情報モラル教育の充実			
			⑤家庭や地域と連携した活動の充実			
	(3) 健やかな体の育成	概ね順調	①体力の維持・向上			
			②基本的な生活習慣の定着			
(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	概ね順調	③学校給食の推進				
		①特色ある学校づくりの推進				
(5) 特別支援教育の推進	順調	①個に応じた学習支援の充実				
		②生活支援員の配置				
(6) 人権・同和教育の推進	概ね順調	①人権・同和教育の充実				
		②いじめや不登校への対応				
(7) 安全・安心な学校づくりの推進	順調	①防災教育の推進				
		②学校や地域での安全確保の推進				
(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	概ね順調	①市所属部会、市教育研究大会の充実				
		②授業力の充実				
		③学校組織の活性化				
(10) よりよい教育環境づくりの実現	概ね順調	①公立学校の再編推進				
		②放課後の子育て支援				
		③校舎の改築及びICT設備の整備等				
		④小中連携教育の検討				
		⑤コミュニティ・スクール（学校運営協議基制度）の推進				
2 ライフステージに応じた社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	概ね順調	①生涯を通じた多様な学習機会の提供			
			(2) 公民館活動の推進	概ね順調	①地域と連携した公民館活動の充実 ②社会教育関係団体への支援と連携 ③西予市結婚推進委員会の取組	・ 公民館運営審議会開催数（平均）
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	概ね順調	①青少年健全育成体制の強化		・ 街頭補導回数	C
			②家庭、地域の教育力の向上		・ 移動補導センター回数	C
			③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進			
	(4) 人権・同和教育の推進	概ね順調	①学習機会の拡充と啓発活動の充実			
②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成 ③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実						
(5) 図書館活動の推進	概ね順調	①読書活動の普及と啓発		・ 利用者数（図書を借りた人数）	B	
		②図書館サービスの充実		・ 利用者数（図書を借りた人数）	B	
3 人生を豊かにする文化芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	順調	①文化財・文化遺産の保護と活用	・ 保護されている指定文化財の割合	A	
			②文化財の継承と次世代を担う人材の育成			
	(2) 文化の振興	遅れている	①文化の継承、次世代を担う人材の育成			
			②文化芸術、生活文化の振興	・ 文化祭等参加団体数及び文化会館利用者数	C	
(3) 文化活動の環境と基盤の整備	概ね順調	①文化施設の整備・充実	・ 各施設の入館者数	C		
		(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	概ね順調	①古代ロマンの里構想の推進 ②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進 ③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進 ④文化的景観保護推進事業の推進		
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	(1) スポーツの普及・推進	概ね順調	①生涯スポーツの普及と活動支援			
			②スポーツ施設の整備・充実	・ 社会体育施設年間利用者数	C	

2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果

重点目標 1 「生きる力」を育む学校教育の推進

(A表)

施 策	(1) 確かな学力の育成
評 価	概ね順調
評 価 に 対 する 分 析	<p>学力向上推進計画に基づいて平成29年度から実施している事業（学び舎事業、学校裁量チャレンジ支援）も認知度が高まり、利用者が年々増え、主体的に学習に取り組む児童生徒の育成に効果を見出すことができている。</p> <p>令和2年度から小学校外国語の教科化が始まったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により新規ALTの来日が遅れたものの、その後は安定した配置ができた。今後も招致を推進し、英語教育の充実に向けて準備を進めたい。また、各種事業の目的に照らし、国際理解教育の推進やグローバルな視野を養う視点での改善、充実が必要である。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事 務 事 業 等	① 学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実		
成 果 指 標	設定なし		
担 当 課	教育総務課	決算額（千円）	679
取 組 事 業	小学生夢チャレンジサポート事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内の小学6年生の学級又は学校（小規模校）に対して夢を募集して、応募された「夢」から実現する夢を選定し、必要に応じて団体等がサポートして児童たちの夢を実現する。</p> <p>【実績】</p> <p>募集対象学校・学級数：12校、15学級 応募学校・学級数、件数：3校、3件 実現した夢：1事業（明浜小学校：明浜の海を100倍楽しもう！）</p> <p>夢の内容：海の生き物の学習として、シーウォーカーや明浜産真珠を使った小物作りなどを体験し、生態系やSDGsについて学ぶことができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>令和3年度は、明浜小学校の「明浜の海を100倍楽しもう」が選定され、明浜小学校の児童は、夢を実現するために、自らで考え実行するための行動力を身に付けた。従来 of 市外に出掛けるだけの短期間の活動ではなく、市内という限られた範囲内で、ふるさとの良さを実感する充実した夢を実現することができ、1年間の継続した学びと実践が実現できた。今後は本事業の問題点等を再点検したうえで、自主性を育むような新事業としたい。</p>		



愛媛ダイビングセンター中岡氏講演



「シーウォーカー体験：愛南町西海観光船」 (5・6年生)



水中ドローンによる撮影

(B表)

事務事業等	① 学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	20,966
取組事業	語学指導外国青年招致事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 JETプログラム指導者5名と委託日本人指導者1名が、小・中学校において、外国語活動や英語授業の補助的指導者となって英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を図る。</p> <p>【実績】 新型コロナウイルス感染症の影響により、新規のALTの来日が遅れ、合計3名体制が10月末まで続いた。11月以降は、中学校には概ね週2日、小学校には週1～2日程度の勤務体制をとった。各学校長による勤務状況評価によると、6名ともに勤務状況、指導の状況、勤務態度の全てで良好であった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 外国語でのやりとりを通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力等を育成するためには、ALTは貴重な役割を果たしている。新規ALTの来日が10月と遅れたものの、その後は安定した配置ができており小学校5・6年生での外国語を中心としたの指導体制を整えることができた。今後も継続したALTの招致を推進し、円滑な授業の実践に向けて、対応する予定である。</p>		

(B表)

事務事業等	① 学力向上推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習指導の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	1,536
取組事業	地域子ども学び場事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学力向上に向けた取組の一環として、市内の児童の希望者に対して学習支援を行う環境を整備する。名称を「学び舎」とし、教員OBを中心とした地域指導者を活用して、毎週土曜日の午前中を基本として学習会を実施する。</p> <p>【実績】 令和3年度は6会場で計114回(令和2年度137回)開講し、延べ1,429人(令和2年度1,540人)の児童が参加した。※新型コロナウイルス感染症の影響で8・9月休講。1月8日で閉講。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 「学び舎」の認知度が高まり、年々参加児童が増加し、令和3年度は登録者が過去最高の116人となった。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、度々休講を余儀なくされたが、地域指導者による個に応じた学習支援は、望ましい学習習慣や主体的に学ぶ態度の育成につながると考える。今後児童が増加を続けるようであれば、指導者の確保が課題である。</p>		

(B表)

事務事業等	③ ICTの活用と情報教育の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	42,336
取組事業	小学校情報教育振興事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 GIGAスクール構想に基づき、小学校の情報教育環境を整備するとともに、教育用コンピュータ及び教育情報ネットワークの維持管理を行う。 併せて、ICT機器の研修を行い、教職員のICT活用能力を底上げすることにより、教育の質の向上を図る。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末(ノートPC)1,565台の維持管理 ・モバイルルータ235台の維持管理 ・ネットワーク等の維持管理 <p>【評価・今後の課題・対応方向】 タブレット端末等のICT機器導入から5年目を迎え、教職員がICT活用能力を習得し、実物投影機やプロジェクターなど、ICTを活用した授業が定着してきた。今後は愛媛県ICT教育推進ガイドラインに基づき端末を有効に活用することで、さらなる教育の質の向上を図る。</p>		

(B表)

事務事業等	③ ICTの活用と情報教育の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	14,200
取組事業	中学校情報教育振興事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 GIGAスクール構想に基づき、中学校の情報教育環境を整備するとともに、教育用コンピュータ及び教育情報ネットワークの維持管理を行う。 併せて、ICT機器の研修を行い、教職員のICT活用能力を底上げすることにより、教育の質の向上を図る。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末(ノートPC)864台の維持管理 ・モバイルルータ115台の維持管理 ・ネットワーク等の維持管理 <p>【評価・今後の課題・対応方向】 タブレット端末等のICT機器導入から5年目を迎え、教職員がICT活用能力を習得し、実物投影機やプロジェクターなど、ICTを活用した授業が定着してきた。今後は愛媛県ICT教育推進ガイドラインに基づき端末を有効に活用することで、さらなる教育の質の向上を図る。</p>		

(A表)

施 策	(3) 健やかな体の育成
評 価	概ね順調
評 価 に 対 する 分 析	健やかな体の育成においては、家庭との連携が重要な要素であり、学校と家庭が相互に連携を深め、基本的な生活習慣の定着に努めている。また、食事についても、地域食材を活用した安全・安心な学校給食の提供に努め、食育の推進を図っている。

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事 務 事 業 等	③ 学校給食の充実		
成 果 指 標	設定なし		
担 当 課	学校教育課	決算額 (千円)	78,284
取 組 事 業	せいよ西学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うとともに、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 学校給食衛生管理基準に基づき衛生管理を徹底し、安全・安心な給食の提供ができた。児童・生徒の希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週4回、パン1回の献立を実施した。また、年間を通して市内産食材を積極的に使用して地産地消を推進するとともに、学校と連携した給食センターの社会見学や給食試食会の実施により食育事業を推進することができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 学校給食衛生管理基準を踏まえ整備した調理施設で適切な衛生管理に努め、安全・安心な学校給食の調理及び提供を行い、児童・生徒の健康増進、体力の向上を図ることができた。今後も、関係機関との連携による地場産物の掘り起しと積極的な使用に努め、地産地消の推進を図るとともに、地場産物を活用した食育活動を継続して展開していきたい。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 学校給食の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	31,652
取組事業	三瓶学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うと共に、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 三瓶学校給食センターの管理運営を円滑に行い、安全・安心な給食の提供ができた。子どもたちの希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週4回、パン1回の献立を実施し、地産地消にも配慮したおいしい給食提供ができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 児童・生徒の健康増進、体力の向上及び給食を通しての食育の推進を行うことができた。児童・生徒の健康面では、体格的にはほぼ全国平均で、健康診断でも特に問題はなく、今後も継続した予防教育や食育推進、体力づくりの推進が必要である。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 学校給食の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	57,068
取組事業	せいよ東学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うとともに、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 学校給食法・学校保健安全法の趣旨を踏まえ、せいよ東学校給食センターの管理運営を円滑に行い、児童・生徒に安全・安心な給食の提供ができた。市内事業所の地元産食材を積極的に使用し、地産地消、地元の経済循環にも貢献した。子どもたちの希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週4回、パン1回の献立を実施し、納入業者・地産地消に配慮した給食の提供ができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 学校給食衛生管理基準を踏まえ整備した調理施設で適切な衛生管理に努め、年3回の専門業者による衛生点検を行うことで、更に職員の衛生管理意識を高めた。また安全・安心な学校給食の調理及び提供を行い、児童・生徒の健康増進、体力の向上を図ることができた。今後も、関係機関との連携による地場産物の掘り起しと積極的な使用に努め、地産地消の推進を図るとともに、地場産物を活用した食育活動を継続して展開していきたい。</p>		

(A表)

施策	(5) 特別支援教育の推進
評価	順調
評価に対する分析	<p>発達障がい等のある児童・生徒一人ひとりが、より豊かな学校生活を過ごせるよう、学習環境の整備と就学支援の充実に向け、関係機関で連携を深めながら対応の充実を図っている。</p> <p>また、市内の小・中学校で支援が必要と認める児童・生徒には、生活支援員を配置し、充実した学校生活を送れるよう個に応じた適切な支援の提供に努めている。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	69,138
取組事業	小学校生活支援員設置事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 発達障がい等のある児童に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</p> <p>【実績】 小学校8校に34人の生活支援員を配置した。支援を行った児童数は合計50人であった。児童の学校生活の支援や、授業中のノートテイク等の補助、特別支援学級の児童が交流学級で授業を受ける際の支援を必要に応じてきめ細やかに行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 生活支援員が関わることで、困り感のある児童の情緒安定につながっている。また、生活支援員の声かけが、級友の対象児童理解によい影響を与えている。適切な支援の結果、生活支援員なしで学校生活を送れるようになった児童もいる。児童のニーズが多様化する中、保護者からの配置希望は年々増加しており、生活支援員の増員を求める声大きい。</p>		

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	8,655
取組事業	中学校生活支援員設置事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 発達障がい等のある生徒に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</p> <p>【実績】 中学校2校に4人の生活支援員を配置した。支援した生徒は合計6人であった。生徒の学校生活の支援や、授業中のノートテイク等の補助、特別支援学級の生徒が交流学級で授業を受ける際の支援を必要に応じてきめ細やかに行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 生活支援員の関わりにより、情緒の安定が図れ、スムーズに学校生活を送ることができている。生活支援員の声かけによって、級友の対象生徒理解にもつながっている。支援に関するニーズが多様化する中、保護者の配置希望に対応できるよう取り組んでいきたい。</p>		

(A表)

施策	(7) 安全・安心な学校づくりの推進
評価	順調
評価に対する分析	<p>自分の命を守るために、正しく判断して行動できる子どもたちの育成に向け、防災学習の充実に学校と連携しながら取り組んでいる。関係機関との連携を深め、地域ぐるみの学校安全対策を充実させることが重要である。</p> <p>メール配信サービスは、各校を通じて広く周知され保護者の多くが利用している。不審者事案の即時情報発信のほか、台風等自然災害時における休業等の情報提供など、学校や地域の安全確保に広く貢献している。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	② 学校や地域での安全確保の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	264
取組事業	不審者情報メール配信事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>西予市内で発生する不審者事案、自然災害対応等、メールでの情報提供を希望する保護者等に対して情報発信を行う。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者情報 0件 ・自然災害対応・学校行事の変更及び園児・児童・生徒の状況(修学旅行等)等のメール配信 1,002件 <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>不審者からの安全の確保、自然災害等への対応のためには、即時の情報発信が不可欠であり、今後も継続していく必要がある。</p>		

(A表)

施策	(9) よりよい教育環境づくりの実現
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>現代社会において、子どもたちを取り巻く環境が変化する中で、16校においてコミュニティ・スクールを導入し、学校や子どもが抱える課題を解決するとともに、学校と地域が連携・協働し、地域とともにある学校づくりを進めていくことができた。</p> <p>また、遠距離通学的手段として整備した、スクールバスも順調に運行し、通学に係る教育環境づくりを実施することができている。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	① 小学校の再編推進		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	112,922
取組事業	スクールバス維持管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>学校再編に伴い遠距離通学となった児童生徒の登下校時の安全を確保するためにスクールバスを運行する。また、登下校以外の空き時間を利用して、校外学習の送迎など臨時で運行する。</p> <p>市所有スクールバス22台、民間車両1台の全23台</p> <p>○明浜小：2台 ○明浜中：1台 ○野村小：7台</p> <p>○野村中：1台 ○城川小：4台 ○城川中：3台</p> <p>○三瓶小：2台 ○三瓶中：2台 ○皆田小：1台</p> <p>【実績】</p> <p>令和3年度について、遠距離通学となる児童・生徒の通学手段としてスクールバスの運行を順調に行った。また、より良い教育環境の整備を目的に校外学習や各種教育活動・学体各種大会等の移動手段としてスクールバスの臨時運行も行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>学校再編から一定期間が経ち、スクールバスの運行においても定着してきたため、年間を通して適切な運行を行うことができている。しかし、再編当初に比べると児童生徒が減少していることもあり、バス車両の大きさや運行路線等について、徐々に見直しが必要な時期も来ている。小中の混乗においても検討する必要があるが、下校時刻の調整など課題が多い。</p> <p>また、車両についても経年劣化が見られ修理の回数や箇所が増えてきているため、適切な維持管理に努めていかなければならない。</p> <p>運行委託に関しては、慣れが生じ、事故等の発生が増加していることから、指導を徹底していく必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びICT設備の整備等		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	60,874
取組事業	小学校施設整備事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 市内小学校施設の中で、老朽化の進んだ施設を改築し、安全・安心な教育環境を整備する。</p> <p>【実績】 宇和町小学校屋内運動場(内部)の改修工事を実施した。 (床改修・内装改修・建具改修・照明改修工事) 大野ヶ原小学校屋内運動場の改修工事を実施した。 (外壁改修・屋根防水改修・床改修・内装改修・照明改修工事)</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 予定どおり工事は完了し、教育環境が整備できた。 今後の課題としては、老朽化している施設も多数存在するため、長寿命化も視野に入れ、計画的に整備・改修を行う。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びICT設備の整備等		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	24,794
取組事業	中学校施設整備事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 生徒の安全で快適な学習環境を整備するとともに、災害時の避難所として必要な機能が発揮できるよう防災機能の強化を図る。</p> <p>【実績】 宇和中学校・野村中学校・明浜中学校・三瓶中学校の校舎及び屋外トイレについてトイレ洋式化工事を実施した。 (4校共通) トイレ洋式化改修工事</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 予定どおり工事は完了し、教育環境が整備できた。 今後の課題としては、老朽化している施設も多数存在するため、長寿命化も視野に入れ、計画的に整備・改修を行う。</p>		

(B表)

事務事業等	⑤ コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	276
取組事業	コミュニティ・スクール推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内全ての小・中学校に、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入することにより、学校や子どもが抱える課題を解決するとともに、地域を担う人材育成のために学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子供の成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進めるものである。</p> <p>【実績】</p> <p>導入学校数：16校（明浜小学校、多田小学校、中川小学校、石城小学校、田之筋小学校、皆田小学校、野村小学校、惣川小学校、大野ヶ原小学校、城川小学校、三瓶小学校、明浜中学校、宇和中学校、野村中学校、城川中学校、三瓶中学校）</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>当初の計画どおり、小学校11校、中学校5校において学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを導入した。これにより、これまで以上に、学校と地域が連携・協働し、学校運営に関する協議を行ったり、学校教育における地域との連携活動を進めることができた。</p> <p>今後は、全ての学校に導入してより充実した学校運営及び地域との連携活動の推進を図っていきたい。</p>		

重点目標 2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(A表)

施 策	(1) 生涯学習の推進
評 価	概ね順調
評 価 に 対 する 分 析	<p>生涯学習社会の構築と魅力ある地域づくり・人づくりの実現に向け、社会教育委員会等で生涯学習事業についての協議・意見交換を行い、ライフステージに応じて主体的に学習できる場や機会の拡充に努めた。</p> <p>令和5年度からスタートする地域づくり活動センター化を見据え、移行後の地域における生涯学習の場の確保と充実に力を入れたい。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事 務 事 業 等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
担 当 課	生涯学習課	決算額 (千円)	1,612
取 組 事 業	家庭教育支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 家庭教育の向上及び、妊娠期・乳幼児期を含む子育てに悩む全ての保護者の支援を進めるため、①定期・予約・出張相談、②情報の提供活動、③学習機会の提供、④イベントの実施の4つの活動を中心とした事業展開を行う。</p> <p>【実績】 ①定期・予約・出張相談：19件 ②情報提供活動：子育て応援情報紙（わくわくステーション）3,600部を発行し、市内保・幼・小・中・児童館・図書館等に配布 ③学習会の開催：発達障がい児の子育てについて ④イベント：プレママ・ママカフェ（4回実施）、山遊び・トランポリン、就学児健診時を活用したPR活動</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 子育て・親育ち学習会では、発達障がい児を育てた保護者から子育て経験について講演していただき、実際に発達障がい児を育てている保護者の支援につながった。その後、ママカフェでも発達障がい児の育児についての情報交換を行い保護者同士の交流が深まった。また、山遊びやトランポリン事業では、多くの親子が参加し、自然に触れたり体を動かしたりしながらコミュニケーションを図ることができた。家庭教育について関心の低い保護者や困難を抱える保護者へ、今後どのように支援していくかが課題である。引き続き、相談しやすい環境づくりや家庭教育について関心を高めてもらうことができるような事業を目指す。</p>		

(B表)

事務事業等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	1,391
取組事業	成人式開催事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 新成人に大人としての自覚と社会的責任を果たすことを促し、ふるさとを愛する心を育むために、祝福・激励の会を開催する(式典、記念行事等)。</p> <p>【実績】 コロナ禍により8月に延期となっていた令和3年成人式は、第5波による感染拡大の影響を受け中止となった。令和4年成人式(1月)は事前の健康チェックをはじめ、当日は消毒、検温、席指定などの感染防止対策を徹底したほか、案内範囲を縮小し開催。 対象者数 326人(うち、出席者248人)</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 県外から帰省する対象者が多いため、コロナ禍での開催は感染対策の徹底が大きな課題である。今後の状況を注視しながら、今後の開催に向け対策を練る一方、新たな式典のあり方についても模索したい。</p>		

(A表)

施策	(2) 公民館活動の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	中央公民館及び24の地区公民館で、地域性や住民ニーズに即した事業を実施している。地域に根ざした活動を通して、住民の教養の向上や健康の増進、生活文化の振興等を図り、まちづくりを支える地域人材の育成に寄与している。

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	明浜教育課	決算額（千円）	701
取組事業	明浜教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の方向性	<p>【事業内容】 公民館を生涯学習の拠点として、各種団体や関係機関と連携を深めながら、人づくりと心ふれあう元気な地域づくりを進める。</p> <p>【実績】 明浜教育課及び明浜町内4公民館において、地域の特色を生かした各種講座やイベントを開催。地域や学校と連携した生涯学習活動を幅広く展開した。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 SummerCampアケハマン、英語とダンス教室、俳句大会学生の部</p> <p>成人教育 山あるきんぐ教室</p> <p>女性教育 手芸教室（粘土細工、苔玉、ジェルキャンドル、フラワーアレンジメント）</p> <p>家庭教育 料理教室</p> <p>文化教育 産業文化祭（展示のみ）、俳句大会一般の部</p> <p>社会体育 元旦走ろう会、新春駅伝競走大会</p> <p>総合教育 門松づくり、しめ縄作り、パソコン教室</p> <p>高齢者教育 クロッキー教室、スマホ教室</p> <p>その他 地域づくり組織との協働</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 天候や新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実施できなかった事業が多いなか、キャンプ事業では災害避難時用テントを使用し、感染防止策を講じるなどの工夫をして取り組んだ。 今後については、地域づくり活動センターへの移行を見据え、地域課題と既存事業の見直しを図る必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	2,597
取組事業	中央公民館・各地区公民館生涯学習事業（宇和地区）		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>全市を対象とした中央公民館生涯学習事業のほか、宇和町内7公民館において実生活に即した学習の場や住民ニーズに応える生涯学習事業を展開する。</p> <p>【実績】</p> <p>各公民館で地域特性や課題を生かした活動を展開し、新たな学習を取り入れた学びの機会を提供しながら、住民のニーズに応える生涯学習活動を実施した。</p> <p>感染症対策を講じながら、事業を推進した結果、事業数は微増であったが、感染症の状況によって、多くの事業で延期や規模縮小、集客性の高いイベント型事業にあつては、その多くが中止を余儀なくされている。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 キャンプ事業YAEI 水生生物調査（環境教育）、通学合宿、愛護班班活動、緑の少年団活動、トランポリン教室</p> <p>成人教育 英会話、各種趣味講座、ふるさと学習会、レクバレー大会</p> <p>女性教育 ミセスキッチン（料理教室）、いきいき学級、こうじ講座</p> <p>家庭教育 各種趣味講座（絵手紙等）、味噌づくり教室</p> <p>高齢者教育 わくわくホリデー（ALTとの交流）、子ども教室体験事業</p> <p>人権教育 料理教室、健康教室、介護予防運動、スマホ教室</p> <p>校区別人権の集い、各地区指導者研修会、草の根学習会</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>各公民館では、公民館職員の資質向上を図りながら、地域の代表である公民館運営審議員、各種団体と連携し、地域に必要な学習ニーズの把握に努めていく。学びへの参加のきっかけとなるよう、楽しさをベースとした学習活動、関心の高い学びの企画など参加者を呼び込む工夫が必要である。また多様な主体との連携や協働を推進し、熱意のある人材を巻き込みながら、人づくり・つながりづくり・地域づくりにつながる取組を推進する必要がある。今後、事業については、新型コロナウイルス感染症への対策を検討した上で実施するほか、感染症の状況も踏まえながら事業内容の点検や見直しにより、事業開催に向けた取組が必要である。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実																				
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）																				
担当課	野村教育課	決算額（千円）	537																		
取組事業	野村教育課・各地区公民館生涯学習事業																				
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>全町を対象とした野村教育課生涯学習事業のほか、野村町内6公民館では地域住民の社会教育・生涯学習活動の拠点として地域コミュニティづくりを推進するとともに、関係機関・団体との連携を深め、地域の特色を生かした活力ある地域づくりに努める。また、それぞれの地区の今後を見据えた災害に強い地域活動を進める。</p> <p>【実績】</p> <p>住民の教養の向上、健康の増進をはじめ、地域活性化を目的としたイベントや各種講座を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、盆踊り大会や防災ウォークラリー大会等は中止となったが、感染対策を徹底することで開催できた事業もあり、地域のつながり、連帯感の醸成を図ることができた。青少年教育では、各地区単位で通学合宿を開催し、自主性、協調性、自立性を養うことができた。</p> <p>また、全地区館で公民館報を発刊し、地区内の話題提供と情報発信に努めた。</p> <p>○主な事業</p> <table border="0"> <tr> <td>家庭教育</td> <td>料理教室、門松づくり、しめ縄づくり体験</td> </tr> <tr> <td>青少年教育</td> <td>農業体験、通学合宿(5地区館)</td> </tr> <tr> <td>成人教育</td> <td>心肺蘇生、鳥獣被害防止対策研修会</td> </tr> <tr> <td>女性教育</td> <td>料理教室、ヨーガ教室、ガーデニング教室</td> </tr> <tr> <td>高齢者教育</td> <td>クロッケー、グラウンドゴルフ、スマホ教室</td> </tr> <tr> <td>人権教育</td> <td>各地区人権学習会</td> </tr> <tr> <td>社会体育</td> <td>野村支部体育祭、乙亥大相撲</td> </tr> <tr> <td>文化教育</td> <td>土居家臯月お茶会、土居家観月会</td> </tr> <tr> <td>総合教育</td> <td>イルミネーション事業、さくら祭り、川まつり</td> </tr> </table> <p>大門松事業</p>			家庭教育	料理教室、門松づくり、しめ縄づくり体験	青少年教育	農業体験、通学合宿(5地区館)	成人教育	心肺蘇生、鳥獣被害防止対策研修会	女性教育	料理教室、ヨーガ教室、ガーデニング教室	高齢者教育	クロッケー、グラウンドゴルフ、スマホ教室	人権教育	各地区人権学習会	社会体育	野村支部体育祭、乙亥大相撲	文化教育	土居家臯月お茶会、土居家観月会	総合教育	イルミネーション事業、さくら祭り、川まつり
	家庭教育	料理教室、門松づくり、しめ縄づくり体験																			
青少年教育	農業体験、通学合宿(5地区館)																				
成人教育	心肺蘇生、鳥獣被害防止対策研修会																				
女性教育	料理教室、ヨーガ教室、ガーデニング教室																				
高齢者教育	クロッケー、グラウンドゴルフ、スマホ教室																				
人権教育	各地区人権学習会																				
社会体育	野村支部体育祭、乙亥大相撲																				
文化教育	土居家臯月お茶会、土居家観月会																				
総合教育	イルミネーション事業、さくら祭り、川まつり																				
	<p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>令和5年度からの地域づくり活動センターへの移行にあたり、持続可能な地域づくりに挑戦し、スクラップ&ビルドを繰り返しながら、事業を推進していきたい。併せて、新型コロナウイルス感染症への対応は必須であることから、今後の検討が必要である。</p>																				

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実																		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）																		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	369																
取組事業	城川教育課・各地区公民館生涯学習事業																		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市民を対象に公民館が住民ニーズに合わせた講座やイベント等を実施し、各地区の特色を生かした社会教育事業を展開する。幅広い世代の生きがいや健康づくりの場とすることと併せて、地域活性化への取組を進める。</p> <p>【実績】</p> <p>町内4公民館において、地域の特色を生かした各種講座やイベントを開催し、各種団体、地域、学校と連携した生涯学習活動を展開した。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症によって、事業の延期、規模縮小などの対応をとる必要が生じた。</p> <p>○主な事業</p> <table border="0"> <tr> <td>家庭教育</td> <td>三世代交流会、門松づくり</td> </tr> <tr> <td>青少年教育</td> <td>自転車通学点検、危険個所点検、どんど焼き、うおっこサマーチャレンジ、夏季体験教室</td> </tr> <tr> <td>成人教育</td> <td>神田米づくり、環境美化活動、クリスマスイベント</td> </tr> <tr> <td>女性教育</td> <td>生花教室、料理教室、奉仕作業、福祉施設訪問、介護学習会、健康教室、婦人学級</td> </tr> <tr> <td>高齢者教育</td> <td>クロッケー大会、清掃活動、しめ縄づくり、祈願祭</td> </tr> <tr> <td>人権教育</td> <td>地区別人権懇談会</td> </tr> <tr> <td>文化教育</td> <td>笹ミネーション（七夕ナイト）</td> </tr> <tr> <td>総合教育</td> <td>地域づくり事業、防災訓練、公民館だより</td> </tr> </table> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>公民館は、地域の活動拠点施設として重要な位置づけにあり、地域の活性化につながる住民参加型の魅力ある事業を推進することが必要である。今後は地域づくり活動センターに向けた、地域づくり団体との協働の事業についても推進していきたい。</p>			家庭教育	三世代交流会、門松づくり	青少年教育	自転車通学点検、危険個所点検、どんど焼き、うおっこサマーチャレンジ、夏季体験教室	成人教育	神田米づくり、環境美化活動、クリスマスイベント	女性教育	生花教室、料理教室、奉仕作業、福祉施設訪問、介護学習会、健康教室、婦人学級	高齢者教育	クロッケー大会、清掃活動、しめ縄づくり、祈願祭	人権教育	地区別人権懇談会	文化教育	笹ミネーション（七夕ナイト）	総合教育	地域づくり事業、防災訓練、公民館だより
家庭教育	三世代交流会、門松づくり																		
青少年教育	自転車通学点検、危険個所点検、どんど焼き、うおっこサマーチャレンジ、夏季体験教室																		
成人教育	神田米づくり、環境美化活動、クリスマスイベント																		
女性教育	生花教室、料理教室、奉仕作業、福祉施設訪問、介護学習会、健康教室、婦人学級																		
高齢者教育	クロッケー大会、清掃活動、しめ縄づくり、祈願祭																		
人権教育	地区別人権懇談会																		
文化教育	笹ミネーション（七夕ナイト）																		
総合教育	地域づくり事業、防災訓練、公民館だより																		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	1,352
取組事業	三瓶教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>公民館を生涯学習の拠点として、住民が自発的・主体的に活動できるように育成・援助しながら取組を進める。小学校の統廃合以降、3地区公民館が協力し連携を図りながら、イベント及び講座事業を実施している。</p> <p>【実績】</p> <p>新規事業の実施や、既存事業は内容の見直しを行いながら取組を行った。事業の告知など、SNSによる情報発信を進めており、これまで参加が少なかった若年・壮年層の受講や参加が増えつつある。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 動物愛護教室、アドベンチャー三瓶、農業体験学習、書初め大会、</p> <p>成人・女性教育 料理教室、干支押絵づくり、陶芸教室、なんでもセミナー</p> <p>ハングル語講座</p> <p>社会体育 レクバレー大会、健康ウォーク</p> <p>高齢者教育 高齢者学級、クロッケー大会、健康教室</p> <p>各種展示会 手作り作品展、年賀はがきコンクール</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じての事業実施となった。事業の中止・規模縮小により、実施回数は減少したが、昆虫展やジオ研究作品、聖火リレー関連等の展示を行い、開催回数を増やすことで参加者数は増加した。これまで、「集う」ことを1つの柱として、事業を展開してきたが、今後は、新型コロナウイルス感染症の収束を見据えて事業の見直しを行うなど、柔軟に対応することで、生涯学習の推進を図る。</p>		

(C表)

成果指標	公民館運営審議会開催回数			
達成状況	C：未達成			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成30年度	令和5年度	令和3年度	（B）－（A）	
2.3	3.0	1.9	△0.4	
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、開催を見送るケースもあったことから、開催数が減少している。今後も実施計画と事業の振り返りのほか、中間期にも開催を促し、次年度への事業の改善・反映などに取り組むよう努める。</p>			

(B表)

事務事業等	② 社会教育関係団体への支援と連携		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	5,432
取組事業	社会教育団体育成事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 社会教育団体の育成・支援のため、運営経費の一部を補助として交付する。</p> <p>【実績】 PTA、愛護班、女性団体連絡協議会、壮年会、婦人会、ボーイスカウト、西予国際交流協会、青年団、野村ふるさとづくりの会の計9団体に補助金を交付した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、前年度と比較すると、開催時期の延期や運営方法を変更するなど、各団体とも臨機応変に対応し、可能な限り事業を実施していた。 どの団体においても会員の減少や高齢化、活動のマンネリ化などが問題となっている。団体活動内容の周知に努め新規会員を増やしていくとともに、WITHコロナ社会の中で団体の効果的な運営方法や活動の在り方などの指導に努めたい。</p>		

(A表)

施策	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成
評価	やや遅れている
評価に 対する 分析	<p>市内70人の補導員により、街頭補導活動、イベントや祭礼時の移動補導センターの開設の活動を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で実施回数は例年より減少したが、実施の際には精力的な活動が行われた。</p> <p>西予市内で令和3年中に検挙補導された少年は0人で、令和2年より4人減少した。県下でも少ない水準を保っている。</p> <p>しかしながら、スマートフォンの普及により、近年課題となっている、インターネットやSNSでの被害は可視化することは難しい。学校や警察と連携を行い、課題解決に取り組みたい。</p> <p>引き続き「見せる非行防止」として補導活動を実施するとともに、青少年問題の情報収集、補導員への周知、指導に努めたい。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	① 青少年健全育成体制の強化		
成果指標	設定あり（街頭補導回数） 設定あり（移動補導センター回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	930
取組事業	青少年補導センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>青少年補導員が定期的な街頭補導活動を行い、各地区のお祭りや行事等で移動補導センターを開設するなど、青少年への声かけ・指導を実施していく。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街頭補導 97回 ・出動補導員数 延べ 205人 ・移動補導センター開設 1回 ・声かけ指導した少年数 8人 <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、例年のような活動ができなかった。限られた活動ではあったが熱意ある補導員が多く、西予市青少年の非行防止につながった。</p> <p>今後は、SNSをはじめとするインターネットが利用できる機器での問題等の対処法について、補導員も理解・学習を深める必要がある。</p>		

(C表)

成 果 指 標	街頭補導回数			
達 成 状 況	C：未達成			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増	減
平成30年度	令和5年	令和3年度	（B）－（A）	
102	130	97	△ 5	
分 析 ・ 評 価	新型コロナウイルス感染症の影響により、補導活動を自粛したため、目標値に届かなかった。			

(C表)

成 果 指 標	移動補導センター回数			
達 成 状 況	C：未達成			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増	減
平成30年度	令和5年	令和3年度	（B）－（A）	
13	20	1	△ 12	
分 析 ・ 評 価	新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントが多数中止となった。しかし、開催されたイベントでは移動補導センターを設置し、青少年の非行や問題行動を未然に防ぐことができた。			

(A表)

施策	(5) 図書館活動の推進
評価	概ね順調
評価に 対する 分析	<p>新型コロナウイルスの感染拡大が2年目に入り、依然市民の利用自粛ムードが継続しているが、通常開館に戻り、貸出人数、貸出冊数とも（市内全館で）令和2年度と比較して増加に転じてきている。各地域に分館があることで、移動手段の無い高齢者、子どもにとって身近な図書館サービスの提供ができています。そうした教育・生涯学習機関としての図書館を基盤として、今後一層市民生活をサポートし、地域づくりに貢献するため図書館機能を高めていく。なお、自館だけでは調達、解決できない資料提供やレファレンスサービスには、全国の図書館ネットワークを活用し、要望に応えている。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	① 読書活動の普及啓発		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	425
取組事業	ブックスタート事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>0歳児（4カ月児）健診の機会に絵本をプレゼントする事業である。乳児と保護者が、絵本を介して心触れ合う時間を持つきっかけをつくる。重ねて、3歳児健診時にも絵本（5種類の中から1冊）をプレゼント。</p> <p>また、小学1年生には「1年生のほんだな」として推薦図書を紹介したチラシを配布、読書習慣がつくよう継続的に実施する。</p> <p>【実績】</p> <p>関係各課の協力を得て、0歳児及び3歳児に対して漏れなく事業を実施できた。0歳児:158人、3歳児:201人。 小学1年生は各学校を通じて全員にチラシを配布した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>関係課（健康づくり推進課、支所生活福祉課、学校教育課）との連携により育児支援、家庭教育支援につながっている。豊かな情操を育む読書生活のスタートとなる大切な事業である。子ども読書推進計画に沿って読み聞かせ活動の充実、ボランティア団体の連携・育成を図り多角的に同事業をフォローする。</p>		

(B表)

事務事業等	② 図書館サービスの充実		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	6,810
取組事業	図書館電算システム管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>図書館システムを活用し、データ作成と検索の利便性向上、カウンター業務の効率化を図り、利用者に対する種々のサポート体制の強化に努める。また、社会教育の機関として教育・研究活動の支援、読書人口の増加という目的達成につなげる。</p> <p>【実績】</p> <p>図書館システムと連動したOPAC（ホック：オンラインパブリックアクセスカタログ：オンライン蔵書目録）のアクセス数【館内OPAC→自動検索機】【WEBOPAC利用】【携帯電話OPAC】【スマートフォンOPAC】も令和2年度の1,254,277件に続き1,151,075件と100万回を超え推移するなど、日常的な環境となり利用者に必要なものとなった。図書館システムの活用で業務運営も順調に実施できている。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>まなびあんで導入している資料のIC化、自動貸出機、自動検索機の設置が、利用者の利便性を高めている。これらの図書館システムを使ったサービス業務や閲覧を行う利用者の増加は、図書館が身近なものであるとの意識が高まった証拠でもある。今後は、図書館システムと連携した図書館ホームページの充実により、さらなる情報発信、情報提供に努め、来館促進につなげていく。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン生活、学校現場でのICT授業の頻度が加速しており、時代に見合ったサービスの開拓に努める。</p>		

(C表)

成果指標	利用者数（図書を借りた人数）		
達成状況	B：概ね達成		
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増減
平成30年度	令和5年度	令和3年度	(B) - (A)
41,571	49,000	45,822	4,251
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止措置のため、時短開館や滞在自粛措置があり、依然市民の利用自粛ムードは継続しているが、その中でも少しずつ利用者は増加に転じてきている。新規利用カード発行者数が着実に伸びていることや、交流施設の定期利用団体が増加傾向にあることから、新型コロナウイルス感染症の収束後に備え、利用者目線に立ったさらなるサービス向上への取組を行う必要がある。</p>		

重点目標 3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(A表)

施 策	(1) 文化財の保護と活用
評 価	順調
評 価 に 対 する 分 析	<p>新型コロナウイルス感染症の流行下ながら、指定文化財や茶堂の修理、文化的景観の重要な構成要素の修理工事、香川大学主催の茅葺き講座等が実施され、順調に文化財の保護と活用が図られている。また、文化財保存活用地域計画についても、協議会での議論を踏まえつつ作成が進んでいる。小森古墳では、前方部南側の墳裾の一端を捉えることができた。</p> <p>引き続き文化財の保護と活用を計画的に進めるとともに、防災意識の向上にも努めたい。</p>

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事 務 事 業 等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成 果 指 標	設定あり（保護されている指定文化財の割合）		
担 当 課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	2,335
取 組 事 業	文化財保護推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内に所在する文化財の価値を洗い出し、市文化財保護審議会の意見をもとに指定したうえで、保存修理や防災防犯対策を講じることで適切に保存する。あわせて講演会等を通じて文化財の価値を広く市民と共有するほか、文化財の活用を図ることで、市民の文化的向上に資する。</p> <p>【実績】</p> <p>龍澤寺（市指定）の本殿屋根の雨漏り修繕工事に対して補助金を支出した。茶堂は、菊之谷茶堂（高野子）の躯体改修工事に補助金を支出した。また、香川大学主催の茅葺き屋根の葺き方講座による小屋町茶堂（串屋）の茅葺き替えが行われた。</p> <p>改正文化財保護法で新たに制度化された文化財保存活用地域計画について、協議会を設置し意見を聴きつつ作成中である。</p> <p>明浜歴史民俗資料館において、収蔵資料の一部について簡易燻蒸を実施し虫害の予防に努めた。</p> <p>また、笠置峠古墳（宇和町岩木）が愛媛県の史跡に指定された。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>文化財保存活用地域計画の作成に取り組むほか、指定文化財の保存修理等の支援、茶堂の維持管理、明浜歴史民俗資料館の展示の見直しなどに取り組む。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（保護されている指定文化財の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	12,060
取組事業	文化的景観保護推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 重要文化的景観「宇和海狩浜の段畑と農漁村景観」の本質的価値を地域で共有し、文化財保護法や関係法令等にもとづく制度を活用して価値を守り次世代へ継承するとともに、これをまちづくりに活かす。 令和3年度は、西予市文化的景観保護審議会における議論をもとに令和元年度に策定した整備計画に基づき、景観を構成する重要な構成要素等の修理・復旧、修景を進める。</p> <p>【実績】 ①文化的景観保護審議会（2回：10月、3月） ②春日神社（拝殿、中殿、幣殿、透塀）修理工事竣工（繰越事業） ③重要な構成要素（主屋）修理工事 1件 ④重要な構成要素（蔵）修理工事 1件 ⑤重要な構成要素（主屋）調査・設計 1件</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 景観の重要な構成要素である春日神社（拝殿、中殿、幣殿、透塀）及び主屋1件と蔵1件の修理工事により、狩浜の生活史を知る上で欠くことのできない建物の価値を保存・継承することができ、文化的景観の本質的な価値の保護につなげることができた。 一方で、文化財の修理のあり方が十分に認識されていない場面も見受けられた。今後は、所有者や管理者、地域等と保護制度、文化財の価値、修理の考え方などを共有できるよう周知・啓発に取り組むとともに、誘導サインやマップ、ビジターセンター等、観光コンテンツとしての整備も進めていく。</p>		



菊之谷茶堂（修理後）



H家蔵（重要文化的景観、修理後）

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（保護されている指定文化財の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	2,100
取組事業	埋蔵文化財発掘調査事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内遺跡詳細分布調査（国庫補助事業）により埋蔵文化財包蔵地の把握と周知に努め、埋蔵文化財保護の基盤を整備し、開発への対応を行う。西予市の重要遺跡について、保存と内容把握を目的とする試掘確認調査を行い、史跡指定を目指す。加えて、坪栗遺跡（山田）出土遺物の整理作業を進める。</p> <p>また、「四国八十八か所霊場と遍路道」の世界遺産化の動きの中で、歴史の道の調査を行い国史跡の指定を目指す。</p>		
	<p>【実績】</p> <p>前方後円墳である小森古墳（宇和町山田）とムカイ山古墳（宇和町空所）を重要遺跡として位置付け、調査を実施した。小森古墳では、前方部の試掘確認調査を実施し、南側の墳裾の一部を確認した。ムカイ山古墳では、全面清掃を実施し、礫の集中地点を確認するとともに、墳頂で墓壙とみられる層を検出した。</p> <p>歴史の道調査では、大寶寺道（宇和町久保）について、文化庁調査官に視察いただき、追加指定範囲を検討した。</p> <p>整理作業では、上記遺物の他、坪栗遺跡の遺物整理を行った。</p>		
	<p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>小森古墳の南側の墳裾の確定に目途をつけることができ、ムカイ山古墳でも墳丘構造の一端を掴むことができた。</p> <p>今後も分布調査を継続しつつ、重要遺跡の調査に重点を置いて継続的に調査を行い、史跡指定を目指す。歴史の道調査では、宇和島街道鳥坂峠越（宇和町久保）の意見具申を行う予定である。</p>		



小森古墳前方部試掘確認調査



ムカイ山古墳清掃・表面採集

(C表)

成 果 指 標	保護されている指定文化財の割合			
達 成 状 況	A：達成済			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増	減
平成30年度	令和5年度	令和3年度	（B）－（A）	
100%	100%	100%	0.0%	
分 析 ・ 評 価	<p>指定文化財の滅失等はなく、龍澤寺（市指定）本殿屋根の雨漏り修繕工事等の保存修理が進められている。令和2年度から西予市文化財保存活用地域計画を作成中であり、令和5年度の国の承認を目指し作業を進めている。</p>			

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
担当課	明浜教育課	決算額(千円)	0
取組事業	文楽保存伝承活動事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 愛媛県指定無形民俗文化財である俵津文楽の保存伝承活動の支援。</p> <p>【実績】 ○過去の文楽公演映像公開(俵津地区文化作品展示会:2/12~2/19) ○愛媛朝日TV取材</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 県の無形民俗文化財に指定されている俵津文楽は嘉永5年(1852)に浄瑠璃による人形芝居を若者に習わせたことに始まった。この文楽が町内にあることで地域の活性化が図られている。地域や座員も伝統文化の保存伝承に対する意識が根付いているが、座員は高齢化しつつあるため、新規座員の確保が今後の課題である。それだけに、本事業は重要であり、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、十分な感染予防対策を講じたうえで、事業を継続していきたい。</p>		

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
担当課	三瓶教育課	決算額(千円)	24
取組事業	文楽保存伝承活動事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 愛媛県指定無形民俗文化財である朝日文楽の保存伝承活動事業。こども朝日文楽クラブの会員を募集し、月2回程度練習を行って後継者育成を図る。</p> <p>【実績】 例年、朝日文楽伝承定期公演(9月)、三瓶町文化祭(10月)、また、町内老人福祉施設を訪問(3月)し、公演を行い練習の成果を発表している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため全て中止。練習も3回のみの実施となった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 こども朝日文楽クラブで教えを受けた児童・生徒が、将来朝日文楽のメンバーとして文楽を受け継ぐような体制づくりが求められる。組織体制の強化及びサポート体制の構築を実現するため、朝日文楽の披露の場を増やし、保存会員の確保を図るとともに、後継者の育成が必要である。本事業は後世への保存伝承であり重要である。また、人形、衣裳等の修繕も必要であり、文楽会と協議し計画的な修繕を行っているところである。</p>		

(A表)

施策	(2) 文化の振興
評価	やや遅れている
評価に 対する 分析	<p>新型コロナウイルス感染症の流行により、各町の文化祭、芸能祭、宮中雲子音楽祭等のイベントや旧開智開明姉妹館交流事業など、大半の事業が中止となった。実施できた事業には、新規事業である愛媛国際映画祭と、全国かまぼこ板の絵展覧会がある。全体として、文化の振興のペースは鈍化している状態である。今後は、感染状況を踏まえつつ、各事業において開催可能な方法を検討していく必要がある。</p>

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（文化祭等参加団体数及び文化会館利用者数）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	1,200
取組事業	文化振興事業（愛媛国際映画祭）		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>優れた映像作品に接する機会を創出し、文化・芸術活動の理解促進、交流人口の拡大、地域の活性化につなげることを目的として、愛媛国際映画祭（主催 愛媛国際映画祭実行委員会）に参加し、映画の上映会および映画・映像関連イベントを実施する。</p> <p>【実績】</p> <p>10月10日（日）に、乙亥会館で愛媛国際映画祭を実施した。『相撲道～サムライを継ぐ者たち～』『蝸ノ記』『浅田家!』の3作品を上映するとともに、野村町出身の久世竜氏を始祖とする久世七曜会が、殺陣の演舞を行った。当日は、延べ300名の来場者があり、他の市町に比べ多くの方に楽しんでいただいた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>上映会後のアンケートでは、「久しぶりに映画鑑賞できて良かった」や「また開催してほしい」など好評な意見が多かったことから、令和4年度も実施する予定である。</p> <p>今後の課題としては、集客に苦労したことが挙げられ、次回は市民への周知方法を工夫する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の流行が今後も続く可能性があることから、対策の徹底が重要である。</p>		



上映会（相撲道）の様子



久世七曜会の殺陣演舞の様子

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（文化祭等参加団体数及び文化会館利用者数）		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	13,902
取組事業	全国かまぼこ板の絵展覧会事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 平成7年度から毎年実施している。全国「かまぼこ板の絵」展覧会開催のため、かまぼこ板に描いた絵を公募し、応募のあった作品から入選作品の選考を実施のうえ応募作品はすべて展示する展覧会。</p> <p>【実績】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、令和2年度に開催予定であった第26回全国「かまぼこ板の絵」展覧会を1年延期して追加募集を行った。令和3年度に第26回展覧会を開催し、二箇年分の作品12,493点を展示した。（参考：令和2年度中の応募作品数7,051作品、追加募集5,442作品）</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 令和2年度は展覧会が延期になったことから入館者が激減したが、令和3年度は観客が戻りつつある。応募者については一定のファン層はあるものの、少子高齢化や人口減少・マンネリ化等による応募数の自然減が生じている。チラシ発送だけでなく、HPやフェイスブック等を活用したSNSを活用し、周知は行っているが、新規応募者確保に向けたPR手法を検討する必要がある。</p>		



第27回全国「かまぼこ板の絵」展覧会募集チラシ

(C表)

成果指標	文化祭等参加団体数及び文化会館利用者数			
達成状況	C：未達成			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成30年度	令和5年度	令和3年度	（B）－（A）	
団体数：145団体	団体数：145団体	団体数：0	△ 145	
利用者数：75,959人	利用者数：80,000人	利用者数：26,446人	△ 49,513	
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、文化祭や芸能発表会等の大半が中止となった。また、文化会館においても、感染症対策を講じてはいるものの、自主・共催事業の中止や施設利用の自粛要請などもあり、利用者数は大幅に減少した。</p>			

(A表)

施策	(3) 文化活動の環境と基盤の整備
評価	概ね順調
評価に対する分析	市内2つの文化会館は共に平成2、3年度に開館し老朽化が著しい。令和3年度、宇和文化会館では舞台機構の改修に向けた大規模改修の5期計画を作成した。令和5年度から改修を始め令和8年度末に完了予定である。利用者が安心して文化活動に取り組むことができる環境づくりに努めるため、緊急性の高い箇所から改修する計画で整備を進めていく必要がある。

☆施策を推進する主な取組の点検・評価

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（各施設の入館者数）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	35,770
取組事業	宇和文化会館管理運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 平成3年12月に開館後、財団法人宇和文化会館が管理受託、平成18度からの指定管理者制度移行後も、同法人が引き続き（平成24年度途中に一般財団法人に移行）管理している。この指定管理者に対して、文化会館管理運営委託料を支出するものである。</p> <p>【実績】 舞台機構の改修に向けた大規模改修の5期計画として令和4年度から改修を始め令和8年度末に完了予定の計画を作成した。利用者が安心して文化活動に取り組むことができる環境づくりに努めるための改修計画で整備を進めていく。 令和3年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、自主事業、貸館事業等で利用予約がキャンセルとなるなど、大幅な使用料の減収となった。来館者及び定期利用者の方々には感染症拡大防止対策を徹底し、安心して利用できる環境整備に努めた。自主事業では予定していた4事業の内、1事業。共催事業については3事業の内、1事業を実施。三瓶文化会館での自主事業は、昨年に引き続き未実施となった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 建設から31年が経過し、施設・設備とも老朽化が進むため、緊急性の高いものから計画的に改修や更新を進める必要がある。利用者の安全安心を確保しながら市民が文化に触れる機会の増加につなげたい。 未曾有の感染症に対しても、十分な予防措置を講じ、安心して利用いただける環境を整えたい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（各施設の入館者数）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	16,551
取組事業	三瓶文化会館管理運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 三瓶文化会館の維持管理及び運営を行う。施設利用は予め1週間前までに申請書を提出後、教育委員会の許可を受け利用する。最長半年先まで申請可能。利用料金(減免含む)は、西予市三瓶文化会館条例第10条に規定されている。 開館時間 午前9時00分から午後10時00分まで 休館日 12月28日から翌年1月4日まで</p> <p>【実績】 ふるさと資料展示室内の、文化的資料を整理し、展示物の配置等を見直し、見学が容易にできるようになった。 令和3年度利用実績は延べ約12,000人で、文化活動、生涯学習教室、各種イベント、図書館、プラネタリウム等多数の市民に利用いただいたが、昨年度比で約35%の減少となった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 平成3年の開館以降、年々利用者は減少傾向にあるが、修繕など維持経費が増加傾向にある。今後貸館を停止するような緊急事態の無いよう計画的に優先順位をつけ修繕等を行い、多くの市民に利用いただけるよう努める。</p>		

(C表)

成果指標	各施設の入館者数			
達成状況	C：未達成			
基準値(A)	目標値	実績値(B)	増	減
平成30年度	令和5年度	令和3年度	(B) - (A)	
111,764	112,000	26,446	△ 85,318	
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、事業の中止や延期、利用の自粛などの対策を講じているため、施設の利用者数はコロナ禍前に比べ大きく減少した。各施設では新型コロナウイルス感染防止対策としてサーマルカメラの設置等の対策も講じているが、計画的な施設設備の改修や更新による、安心安全の確保を引き続き図っていく必要がある。</p>			

重点目標 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

(A表)

施策	(1) スポーツの普及・推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったイベントもあったがスポーツ協会やスポーツ推進委員協議会、スポーツクラブと連携し、スポーツイベントを開催することで、市民がスポーツに親しむことのできる機会の増加を図ることができた。今後も、市民がスポーツに親しむことで、相互の親睦・交流を深め、健康・体力の保持増進につなげたい。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定なし		
担当課	スポーツ・文化課	決算額(千円)	150
取組事業	総合型地域スポーツクラブ補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 西予市総合型地域スポーツクラブ育成振興補助金交付要綱に基づき、総合型地域スポーツクラブ活動支援のため補助金を交付する。</p> <p>【実績】 令和3年度実績は以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ・みかめスポーツクラブ 50千円 ・のむらスポーツクラブ 50千円 ・文化の里スポーツクラブ 50千円 </p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 各クラブの魅力ある事業の支援及び広報せいよや市HPでの紹介などの情報発信を通じてクラブ会員の増加を目指すとともに、市民の健康増進に向けてのきっかけづくりが進んでいる。 今後も、次世代を担う青少年の体力向上及び人格形成、地域交流を促進し、体育振興に大きな役割を果たす総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。</p>		



のむらスポーツクラブ(アタックバレーボール教室)



みかめスポーツクラブ(第1回ライフ親子グラウンドゴルフ大会)

(B表)

事務事業等	① スポーツ施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（社会体育施設年間利用者数）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	9,738
取組事業	体育施設維持管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 多くの市民が施設を利用することにより、西予市におけるスポーツの推進を図るとともに、市民の健康増進及び体力向上に資するため、市内の社会体育施設及び学校開放施設の維持管理を行う。</p> <p>【実績】 社会教育（体育）施設の利用者数（利用回数） 明浜地区 8,044人 宇和地区 71,439人 野村地区 35,904人 城川地区 2,688人 三瓶地区 21,223人</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 西予市におけるスポーツの推進を図るとともに、市民の健康増進及び体力向上に資するため、市内の社会体育施設及び学校開放施設の維持管理は必要である。</p>		

(C表)

成果指標	社会体育施設年間利用者数			
達成状況	C：未達成			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成30年度	令和5年度	令和3年度	（B）－（A）	
162,039人	163,000人	139,298人	△ 71,741人	
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染症の蔓延により、施設の休館や各種イベント等の中止もあり、利用者数が減少しているが、活動を再開し始めた団体もあり、上昇傾向にある。今後も引き続き、感染フェーズに応じた感染症対策を講じながら、市民の安心・安全な利用に努めていきたい。</p>			

V 学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性

1 「生きる力」を育む学校教育の推進

(1) 確かな学力の育成

【学識経験者の意見】

(小学生夢チャレンジサポート事業)

コロナ禍で事業を実施するタイミングが非常に難しい状況だと思う。ジオパーク推進室と教育委員会と連携して地域学習やジオ学習の推進をお願いしたい。この事業はジオに関するだけでなく、子どもたちの夢を大事にして欲しい。

《今後の取組の方向性》

(小学生夢チャレンジサポート事業)

4年度は2校を選定し、選定後それぞれの学校で活動を行った。活動の中でジオパーク推進室の協力を得ながら、西予市ジオサイトの紹介資料を作成し、県外で普及活動を行った。1月には城川に2校が集まりジオミュージアムの見学や交流事業を行っている。

また、ジオパーク学習としてジオパーク推進室と連携し、市内各地のジオサイトをめぐり発表会や成果物の作成を行っている。

(7) 安全・安心な学校づくりの推進

【学識経験者の意見】

(不審者情報メール配信事業)

急遽、事業中止の連絡を参加者に行った際に非常に役立った。今後もICTの有効的な活用に取り組んでもらいたい。

《今後の取組の方向性》

(不審者情報メール配信事業)

令和5年度より、メール配信システムを変更し、新たな連絡アプリを使つての情報提供となり、今以上に保護者や地域と連携した迅速な対応を行う。

不審者情報については、個人情報等に配慮しながら、児童生徒の安全安心を最優先にした情報発信を引き続き取り組む。

(9) よりよい教育環境づくりの実現

【学識経験者の意見】

(スクールバス維持管理事業)

スクールバス運行委託に関して、スクールバスの空き時間の有効活用をお願いしたい。

《今後の取組の方向性》

(スクールバス維持管理事業)

通常の登下校便のほかに、通学に支障の無い範囲で学校行事にスクールバスを活用

しており、主に陸上・水泳・中学校総体などの各種大会、社会見学などの移動に使用している。

スクールバスを所管していない学校でも利用できる体制を整えており、市内小中学校、幼稚園にて有効に活用している。

2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(1) 生涯学習の推進

【学識経験者の意見】

(成人式開催事業)

今後、西予市として成人式の対象者をどうするのか。

《今後の取組の方向性》

(成人式開催事業)

引き続き 20 歳を対象とし、県下では 18 歳を対象とする自治体はなく、名称も「成人式」を継続する。

3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(1) 文化財の保護と活用

【学識経験者の意見】

(文化財保護推進事業)

笠置峠古墳が愛媛県の史跡に指定されたことは喜ばしいと思う。古墳の保存、活用に取り組んでもらいたい。また、茅葺き屋根取替作業を高校生や大学生も参加し、文化財の保存伝承、活用に取り組んでもらいたい。

《今後の取組の方向性》

(文化財保護推進事業)

市内には笠置峠古墳、小森古墳、ムカイ山古墳の 3 つの前方後円墳があり、これら貴重な埋蔵文化財を調査し保存活用等に取り組んでいく。

市内に残る貴重な茅葺き屋根の茶堂については、今後も様々な方面から協力いただきながら茅葺きワークショップをとおして保存活用に努める。

4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

(1) スポーツの普及・推進

【学識経験者の意見】

(総合型地域スポーツクラブ補助事業)

スポーツクラブを利用した地域部活動への考えをお聞かせください。

《今後の取組の方向性》

(総合型地域スポーツクラブ補助事業)

教育委員会では令和 6 年度秋頃までに、休日の中学校部活動を地域に移行する方針で

令和4年度から業務着手している。地域部活動の指導者は地域の方等を想定しているが、組織的に行うことで理解が得やすいと考え、スポーツクラブ等と連携・協力し、指導者を派遣する取組を考えている。



西予市教育委員会

〒797-8501 西予市宇和町卯之町三丁目 434 番地 1

Tel : 0894-62-6430 (教育総務課) Fax : 0894-62-6584

E-mail : kyouikusoumu@city.seiyo.ehime.jp